

# ソフトバンクグループの成長戦略分析

## はじめに

ソフトバンクグループは、「情報革命で人々を幸せに」という理念を掲げ、通信事業を基盤に、AI、IoT、5Gなどの分野へ積極的に投資を行う戦略的持株会社です。<sup>1</sup>近年では、アリババや Arm といった世界的な企業への投資で注目を集めてきました。本稿では、ソフトバンクグループの成長戦略について、最新の会社概要、事業戦略、財務情報、主要投資先の動向などを分析し、その強みと弱み、機会と脅威を考察します。

## ソフトバンクグループの概要と事業戦略

ソフトバンクグループは、国内通信事業を担うソフトバンク株式会社、インターネットサービスを提供する Z ホールディングス株式会社、半導体設計企業 Arm Limited など、多岐にわたる事業を展開しています。<sup>2</sup>また、世界中のテクノロジー企業に投資を行うソフトバンク・ビジョン・ファンド (SVF) を通じて、AI、IoT、5G などの成長分野に注力しています。<sup>3</sup>

同社の公式ウェブサイトによると、企業理念は「情報革命で人々を幸せに」であり、<sup>1</sup>そのビジョンは「300年成長し続ける企業グループ」を目指しています。<sup>4</sup>このビジョンを実現するために、ソフトバンクグループは「群戦略」と「投資戦略」の2つの柱で事業を推進しています。

**群戦略**は、通信事業を基盤に、非通信事業を拡大し、シナジー効果を生み出す戦略です。具体的には、通信事業で培った顧客基盤や技術力を活用し、E コマース、FinTech、ヘルスケアなどの分野へ進出しています。例えば、通信料金の支払いと連携したポイントサービスや、健康データを活用した保険商品などが挙げられます。<sup>5</sup>

**投資戦略**は、SVF を通じて、世界中の有望なテクノロジー企業へ投資し、その成長を支援する戦略です。投資先は、AI、IoT、5G、ロボティクス、FinTech など、多岐にわたります。<sup>3</sup> SVF は、2017年に設立された1号ファンドと、2019年に設立された2号ファンドがあり、運用資産総額は1,000億ドルを超えています。<sup>6</sup> SVF の投資戦略は、長期的な視点に立ち、革新的な技術を持つ企業を支援することで、情報革命を加速させることを目的としています。

さらに、2022年11月11日に行われた第2四半期決算説明会では、代表取締役会長兼社長執行役員である孫正義氏は、世界的な景気後退懸念を踏まえ、「徹底的な守りの戦略」を表明しました。<sup>7</sup>これは、投資を抑制し、財務体質を強化することで、厳しい経済環境を乗り越えることを目指すものです。

## 財務状況と業績推移

最新の財務報告によると、2025年3月期第2四半期の連結業績は、売上高が前年同期比で増加し、営業利益は黒字に転換しました。<sup>8</sup>しかし、純利益は、投資先企業の評価損などの影響で

赤字となっています。<sup>8</sup> 具体的には、売上高は2兆6,878億円、営業利益は4,383億円、純損失は9,315億円でした。<sup>8</sup>

同社の財務状況は、有利子負債が依然として高水準であるものの、ArmのIPOによる資金調達などで改善傾向にあります。<sup>7</sup> ArmのIPOにより、約4.8兆円の資金を調達し、負債の返済や新たな投資に充当する予定です。<sup>7</sup> 今後の見通しについては、アナリストのコンセンサス予想では、2025年3月期の業績は増収増益となる見込みです。<sup>9</sup> アナリストの平均目標株価は11,446円となっており、株価上昇が期待されています。<sup>9</sup>

## 主要投資先の動向

ソフトバンクグループの主要な投資先であるArm、Alibaba、Yahoo! Japanの動向を以下の表にまとめました。

Company	Business Focus	Opportunities	Challenges
Arm <sup>10</sup>	半導体設計	AIブームを背景とした高性能半導体への需要増加、ライセンス収入の増加	AIブームの高まる期待に応えることの難しさ、米半導体大手とのライセンスをめぐる対立
Alibaba <sup>11</sup>	Eコマース、クラウド、物流	中国市場におけるEコマースの成長、クラウド事業の拡大、AIを成長の原動力と位置づけ	中国経済の成長鈍化、規制強化、競争激化
Yahoo! Japan <sup>12</sup>	ポータルサイト運営、検索、ニュース、Eコマース	LINEとの経営統合によるユーザー基盤の拡大、新たなサービス展開	国内インターネット広告市場の競争激化、プライバシー保護への意識の高まり、成長戦略の具体的な目標時期の未定 <sup>13</sup>

## 専門家の意見

ソフトバンクグループの取締役会メンバーであるチャオ氏は、AI革命は産業革命やモバイル革命以上に大きな影響を世界に与えると述べています。<sup>14</sup> また、この革命に対応するためには、多様なスキルセットと専門性が必要であり、ソフトバンクグループは、多様な取締役会メンバーによって、インタラクティブな議論を展開することで、AI革命に対応できると考えています。<sup>14</sup>

さらに、経営戦略・金融コンサルタントの夫馬賢治氏は、ソフトバンクグループのESG情報開示について、ホームページ、有価証券報告書、統合報告書、サステナビリティレポート、ESGデータブックなど、多岐にわたる情報開示を行っていることを評価しています。<sup>15</sup>

## ソフトバンクグループの成長戦略における SWOT 分析

### 強み

- **多岐にわたる事業ポートフォリオ:** 通信事業を基盤に、非通信事業を拡大し、シナジー効果を生み出している。<sup>2</sup> 例えば、通信事業で獲得した顧客基盤を Yahoo! JAPAN の E コマースや PayPay などのサービスに活用することで、顧客基盤の拡大を図っています。
- **世界的な投資ネットワーク:** SVF を通じて、世界中の有望なテクノロジー企業へ投資し、その成長を支援している。<sup>3</sup> 世界中のスタートアップ企業とのネットワークを構築することで、新たな技術やビジネスモデルをいち早く取り入れることができます。
- **AI、IoT、5G などの成長分野への注力:** 将来性のある分野へ積極的に投資を行い、新たな事業機会を創出している。<sup>3</sup> AI、IoT、5G は、今後の社会や経済を大きく変革する可能性を秘めており、ソフトバンクグループはこれらの分野で主導的な役割を果たすことを目指しています。

### 弱み

- **有利子負債の高水準:** 投資による資金需要が高く、財務リスクを抱えている。<sup>7</sup> 有利子負債の増加は、金利上昇リスクや資金調達リスクを高める可能性があります。
- **投資先企業の業績変動リスク:** 投資先企業の業績悪化が、ソフトバンクグループの業績に影響を与える可能性がある。<sup>8</sup> 特に、WeWork や Uber Technologies など、一部の投資先企業の業績は低迷しており、今後の業績回復が課題となっています。<sup>16</sup>
- **中国事業への依存度:** アリババなど、中国事業の業績が、ソフトバンクグループの業績に大きく影響する。<sup>11</sup> 中国経済の減速や米中対立などの影響を受けやすく、事業の安定性に課題があります。

### 機会

- **AI 市場の拡大:** AI は、様々な分野で活用が進んでおり、市場規模は今後も拡大が見込まれています。<sup>17</sup> IDC Japan によると、2024 年の国内 AI システム市場は、前年比 26.5% 増の 6,854 億円に達する見込みです。<sup>18</sup> ソフトバンクグループは、AI 分野への投資を強化することで、この成長市場を取り込むことができます。
- **IoT 市場の拡大:** IoT は、様々なモノがインターネットに接続されることで、新たなサービスやビジネスモデルが創出されることが期待されています。<sup>19</sup> Straits Research の予測では、

IoTにおけるAIの世界市場規模は、2031年までに183億7,000万米ドルに達するとされています。<sup>19</sup> ソフトバンクグループは、IoTプラットフォームの構築やIoTデバイスの開発などを通じて、IoT市場の成長を牽引することができます。

- **5G市場の拡大:** 5Gは、高速・大容量通信を可能にすることで、新たなサービスやアプリケーションの登場を促すと期待されています。<sup>20</sup> Fortune Business Insightsによると、世界の5Gインフラストラクチャ市場規模は、2023年から2030年にかけて年平均成長率21.7%で成長すると予測されています。<sup>20</sup> ソフトバンクグループは、5Gネットワークの構築や5Gサービスの提供を通じて、5G市場の拡大に貢献することができます。
- **デジタル化の進展:** 社会全体のデジタル化が加速しており、ソフトバンクグループの事業機会が拡大している。新型コロナウイルス感染症のパンデミックを契機に、テレワークやオンラインショッピングなど、デジタルサービスの利用が拡大しています。ソフトバンクグループは、デジタル化の進展を捉え、新たなサービスやビジネスモデルを創出することで、更なる成長を図ることができます。
- **グローバルな事業展開:** 世界各国で事業を展開しており、新たな市場開拓の可能性がある。ソフトバンクグループは、アジア、北米、南米など、世界各国で事業を展開しています。<sup>3</sup> グローバルな事業展開は、事業リスクの分散や新たな成長機会の獲得につながります。

## 脅威

- **競争の激化:** 通信事業、インターネットサービス事業ともに、競争が激化している。国内通信事業では、NTTドコモやKDDIとの競争が激化しており、料金値下げ圧力が高まっています。また、インターネットサービス事業では、GoogleやAmazonなどの巨大IT企業との競争が激化しており、顧客獲得競争が激しくなっています。
- **規制強化:** 各国で、デジタルプラットフォーム企業への規制強化の動きがあり、事業に影響を与える可能性がある。個人情報保護や競争法などの観点から、デジタルプラットフォーム企業への規制強化が進んでいます。ソフトバンクグループは、各国における規制動向を注視し、適切に対応していく必要があります。
- **地政学リスク:** 米中対立など、地政学リスクの高まりが、事業に悪影響を与える可能性がある。米中対立は、サプライチェーンの混乱や投資活動の制限など、ソフトバンクグループの事業に悪影響を与える可能性があります。ソフトバンクグループは、地政学リスクを分析し、適切なリスク管理を行う必要があります。

## 結論

ソフトバンクグループは、情報革命を牽引する企業として、AI、IoT、5Gなどの分野へ積極的に投資を行い、成長を続けています。ArmのIPOによる資金調達や、LINEとの経営統合など、戦略的な動きも見られます。しかし、有利子負債の高水準や、投資先企業の業績変動リスクなど、課題も抱えています。

今後の成長戦略としては、AI、IoT、5G市場の拡大を捉え、新たな事業機会を創出しつつ、財務基盤の強化を図ることが重要となります。そのために、群戦略を強化し、各事業間のシナジー効果を最大化することで、収益性の向上を図る必要があります。また、投資戦略においては、投資先企業の選定やリスク管理を徹底し、投資効率を高める必要があります。

ソフトバンクグループは、強みである多岐にわたる事業ポートフォリオと世界的な投資ネット

ワークを活かし、機会を捉え、脅威に対応することで、持続的な成長を実現していくことが期待されます。

ソフトバンクグループの今後の動向は、日本の経済、そして世界のテクノロジー業界に大きな影響を与える可能性があり、引き続き注目が必要です。

## 引用文献

1. ソフトバンク, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://www.softbank.jp/>
2. グループ企業 | 企業・IR - ソフトバンク, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://www.softbank.jp/corp/aboutus/business/group/>
3. 事業セグメント | ソフトバンクグループ株式会社, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://group.softbank/segments>
4. 新 30 年ビジョン | ソフトバンクグループ株式会社, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://group.softbank/philosophy/vision/next30>
5. ソフトバンクグループとは - ソフトバンクグループレポート 2024 | ソフトバンクグループ株式会社, 1月 11, 2025 にアクセス、  
[https://group.softbank/ir/financials/annual\\_reports/2024/who\\_we\\_are](https://group.softbank/ir/financials/annual_reports/2024/who_we_are)
6. ソフトバンクグループ株式会社 - NET-IR, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://webcast.net-ir.ne.jp/99842312/index.html>
7. 継続的な資金化と投資基準の厳格化で守りを徹底 - ソフトバンクグループ株式会社 2023 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会レポート, 1月 11, 2025 にアクセス、  
[https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20221110\\_01](https://www.softbank.jp/sbnews/entry/20221110_01)
8. 株主・投資家情報(IR) | ソフトバンクグループ株式会社, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://group.softbank/ir>
9. ソフトバンクグループ (9984) : アナリストの予想株価・プロ予想 [SoftBank Group] - みんかぶ, 1月 11, 2025 にアクセス、 [https://minkabu.jp/stock/9984/analyst\\_consensus](https://minkabu.jp/stock/9984/analyst_consensus)
10. 決算説明会 : アーム、過去最高の第 1 四半期決算を発表、着実な成長を予測 - Investing.com, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://jp.investing.com/news/stock-market-news/article-93CH-825295>
11. アリババ、AI とクラウドを両輪とした成長戦略を発表 - ZDNET Japan, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://japan.zdnet.com/article/35219375/>
12. メディア事業 | 成長戦略 | 統合報告ポータル - LINE ヤフー株式会社 - LY Corporation, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://www.lycorp.co.jp/integrated-report/strategy/media.html>
13. ニッポンインシュア Research Memo (1) : 2024 年 9 月期は創業以来過去最高の売上高・営業利益を更新(フィスコ) - Yahoo!ファイナンス, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://finance.yahoo.co.jp/news/detail/7e6564b26e2adc1fc1ed24b9cca29408cae425ba>
14. 社外取締役メッセージ—ソフトバンクグループレポート 2024, 1月 11, 2025 にアクセス、  
[https://group.softbank/ir/financials/annual\\_reports/2024/message/chao](https://group.softbank/ir/financials/annual_reports/2024/message/chao)
15. 外部評価・イニシアチブ (第三者意見) | 企業・IR - ソフトバンク, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://www.softbank.jp/corp/sustainability/evaluation/opinion/>
16. ソフトバンクグループ株式会社, 1月 11, 2025 にアクセス、 <https://group.softbank/>
17. 総務省 | 令和 5 年版 情報通信白書 | 市場概況, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r05/html/nd249100.html>
18. 2024 年 国内 AI システム市場予測を発表 - IDC, 1月 11, 2025 にアクセス、  
<https://www.idc.com/getdoc.jsp?containerId=prJPJ52070224>
19. IoT における AI の市場規模、業界動向、2031 年までのシェア - Straits Research, 1月 11,

2025 にアクセス、 <https://straitresearch.com/jp/report/ai-in-iot-market>

20. 5G インフラ市場規模 |世界成長レポート [2032] - Fortune Business Insights, 1月 11, 2025  
にアクセス、

<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/%E6%A5%AD%E7%95%8C-%E3%83%AC%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88/5g%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%A9%E5%B8%82%E5%A0%B4-100869>